

1 Jの電子のラブができ、電子のラブのエネルギーが8.665Jに成ったときビッグバンは起きた。1836Jの陽子のラブができ、陽子のラブのエネルギーが $1.591 \times 10^4 \text{J}$ に成ったときビッグバンは起きた。それで、マイナスの宇宙とプラスの宇宙の折り返し点となったのはビッグバンです。マイナスの宇宙の $A=6.898 \times 10^9 \times 48.32$ の場であり、プラスの宇宙の $A=10^{20}$ の場です。この場の宇宙のエネルギーは等しい。

ビッグバンを起こしたエネルギーは、出来上がった陽子のエネルギーの集合体です。そこに存在する陽子ラブの数は、この場の電子のラブのエネルギーは8.665Jですから、 $1.0765 \times 10^{79} \times a^6 = 1.0765 \times 10^{79} \times 8.665^6 = 1.077 \times 10^{79} \times 4.233 \times 10^5 = 4.559 \times 10^{84}$ 個です。(特願 2009-218192)。

・ビッグバンを起こす力に成ったものは、陽子のラブの全体のエネルギーであり、陽子のラブの個数×陽子のラブのエネルギー $=4.559 \times 10^{84}$ 個 $\times 1.591 \times 10^4 \text{J} = 7.253 \times 10^{88} \text{J}$ 、です。・ビッグバンを起こす力に成ったものは、陽子のラブが作る電気の光子のエネルギーであり、磁気的光子のエネルギーである引力です。陽子のラブが1秒間に作る電気の光子のエネルギーと磁気的光子のエネルギーは等しいです。陽子のラブが1秒間に作る電気の光子のエネルギーと磁気的光子のエネルギーは、 $2.323 \times 10^{-32} \text{Jm} \div \text{公転軌道} = 2.323 \times 10^{-32} \text{Jm} \div (5.446 \times 10^{-28} \text{m}) = 4.266 \times 10^{-5} \text{J}$ 、です。・ 4.559×10^{84} 個の陽子のラブが1秒間に作る電気の光子のエネルギーと磁気的光子のエネルギーは、 4.559×10^{84} 個 $\times 4.266 \times 10^{-5} \text{J} = 1.945 \times 10^{80} \text{J}$ 、です。・ビッグバンを起こす力に成ったものは、陽子のラブの比重です。陽子のラブの自転軌道の比重は $5.225 \times 10^{64} \text{g/cm}^3$ です。この比重の物が 4.559×10^{84} 個存在します。